

(端裏書)

「大九右衛門様 末彦右衛門

貴下内要用分」

さし急キ御法御免可被下候

扱今般御目見江被

仰出候ニ付而者前触ハ勿論其外出来り之者共御役所ハ御請ニ罷出候義旧例御座候處定而御承知

哉と奉察候得共為念

御沙汰申上候間此段

御含被成最寄江御沙汰被成候ハ如何哉、右

得其意申上度迄

六月一日 申留候、已上

尚々明日ハ態沢様御宅

ニ而皆々差揃候上

御城迄出勤仕候様被

仰聞候旨是又御知らせ

申上候、以上

鰹節引替札之義者

未夕御取究メ無之、追々

御様子可然候、以上